

施策番号	0203		
施策名	すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進		
概要	すべての市民が、いきいきと活動できる場所と機会を提供するとともに、自分にあった働き方を見つけられ、安心した生活ができるよう、能力向上のための支援や経済的支援などの施策展開を図る。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関する主な分野別計画等			

施策の評価

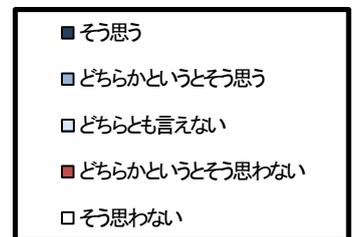
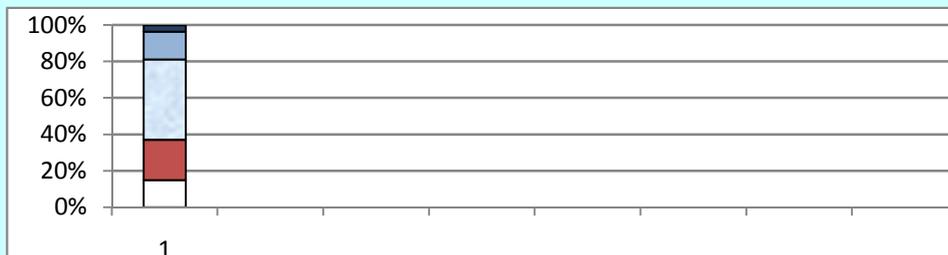
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 京都労働学校受講生の満足度(点)	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価								-	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 いきいきと活動して自分の能力を發揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。	20 3.6%	86 15.3%	248 44.0%	125 22.2%	84 14.9%	563	c	
2 -								
3 -								
4 -								
5 -								
市民生活実感調査総合評価								C



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	-	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の実感は、国や府の施策を含めた雇用労働関係行政全般の影響を受けるものであるが、本施策はその一部である勤労者福祉施策であることから、客観指標総合評価を重視することとする。						年度	-
(原因分析) (※重みづけは客観指標とするが、京都労働学校受講生へのアンケート調査は23年度から実施するものであるため、22年度実績に対する今回の評価は市民の実感で行う。) ・昨今の厳しい経済社会情勢がそのまま反映されていると考える。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	労働学校運営	30,850	31,105	かなり良い	文化市民局
2	勤労者情報システム整備	3,470	3,470	かなり良い	文化市民局
3	労働者金融対策(融資制度)	251,660	251,660	かなり悪い	文化市民局
4	労働団体助成	2,680	2,680	-	文化市民局
5	勤労者の生活充実支援事業	4,368	4,368	かなり良い	文化市民局
6	外国人住民に関する制度変更に伴うシステム改修	68,877	195,008	-	文化市民局
7	上京区総合庁舎整備	34,549	204,734	-	文化市民局
8	認知症の人も安心して暮らせる町づくり～高齢者に優しい店を世代を越えた共汗で創り出そう～	1,482	3,000	普通	区役所
9	南区認知症サポートネットワーク形成事業	0	2,665	-	区役所
10	南区民健康づくり推進事業	0	13,816	-	区役所
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・京都労働学校において、勤労者のニーズに合った講座内容や回数等になるよう工夫し、受講生がより満足し、いきいきと働けるよう支援を行っていく。

施策名	0203	すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進									
指標名	京都労働学校受講生の満足度(点)										
担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	222-3089								
1 指標の説明											
京都労働学校受講生へのアンケート調査の結果											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
勤労者の教養と自覚を高めるための京都労働学校の講座等に関する満足度を示す指標			算出方法：京都労働学校受講生へのアンケート調査結果（5段階評価） 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移	目標値							
				数値	根拠	達成度					
数値	-	-	-	(5.0)	最高満足度	-					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度		根拠					
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：80%以上90%未満 c：70%以上80%未満 d：60%以上70%未満 e：60%未満		最高満足度を目標とするため、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>				23	-	-	-
		23									
-	-	-									